

クライミングホールド使用上の警告！ & ご注意！

≡ 重要：必ず最初にお読みください ≡

警告！製品の性格上、破損や回転による重大な事故発生の可能性があります。

クライミングホールドは、その製品の性質上、常に破損や回転の可能性があります。その場合クライマーは墜落をまぬがれません。また破損の場合はクライマーだけでなくホールドの破片が落下することとなります。ホールドの使用者は、このことを前提に、万が一の破損や回転が起きた場合でも、それが直接の事故に結びつかぬよう、最大限の注意を払って、ご使用下さい。

具体的には、ボルダーにおいてはマットを必ず使用し、またルートをリードする際は全てのプロテクションにクリップし、トップロープの場合はロープを適切に操作してください。

またルートやボルダーの下に人やモノを入れない、などホールドの破損や回転が起きてても事故につながらぬよう最大限の安全対策を施したうえでホールドをご使用ください。

注意！！破損や回転、またケガをさけるためにご注意ください！

インパクトドライバー等の強いトルクでボルトを締めるとホールドが、割れたり、ヒビが入ることがあります。

ホールド底面が接する壁が、FRP等、壁の表面に凹凸がある場合、ホールドとの接地面に均一に力がかからないため割れる可能性があります。

締めすぎないように注意して下さい。特に薄いもの、小さいホールド等は、レンチで手締めすることを強くお勧めします。

ボルトの締めすぎ、ホールドの劣化、その他の理由によって、ヒビがはいったホールド、割れたホールドは取り外し処分して下さい。

ビス止め（スクリューオン）ホールドの固定の場合は全てのビス穴をビス止めして下さい。

ボルトのゆるみによって、ホールドが回転することがあります。クライミング前にチェックと必要に応じて増し締めをして下さい。

ホールドはボルトで固定し、さらにビス止め穴のあるホールドは必ず全て

ボルトのゆるみによって、ホールドが回転することがあります。クライミング前にチェックと必要に応じて増し締めをして下さい。

ホールド使用時の安全確認や安全対策が不十分な場合、死亡を含む重大な事故が発生する場合があります。

クライミングホールド以外の目的で使用しないで下さい。

本製品の所有者または管理者以外の方が、本製品を使用する場合、必ず本製品の所有者（管理者）は利用者に対して、本紙警告及び注意の内容を正しく伝えてください。他人に本製品を利用させる場合、所有者（管理者）は危険情報を含む製品の特性を正しく伝える義務を負っております。クライミングホールド使用上の警告及び注意は必ず製品の利用者にお伝えください。

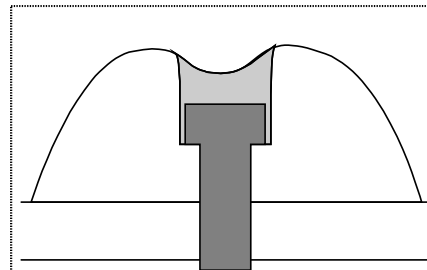
の穴をビス止めして下さい。ホールドの破損、落下を最小限に防ぐことにつながります。

ビス止めの穴がないホールドは、ホールドの周りにビスを打つことで、ある程度その回転防止ができます。

ビス止め穴ガイド（小さなくぼみ）がついているホールドは、そこに鉄鋼ドリル（4～5mm）で穴を開け、ビス止めをすることで、回転を防ぐことができます。

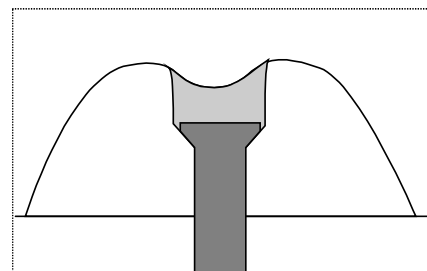
使用が少なくても、季節の変わり目には、主に温度と湿度によりボルトやビスが緩みがちです。通常以上の注意を払ってください。

ダイナミックで危険なムーブは、ホールドや壁の破損だけでなく、怪我にもつながります。課題を設定する際は安全に十分な配慮をして下さい。



BleauStone Lapis CoreClimbing expression の通常のホールド

適切なサイズのキャップスクリューボルトを使用してください。



BleauStone 一部のホールド

適切なサイズのフラットヘッドボルトを使用して下さい。

BleauStone Lapis 23holds Captaincru
CoreClimbing eXpression artline agripp
正規輸入代理店

有限会社セブンエー

〒195-0063 東京都町田市野津田町1741-1
TEL:042-860-2467 FAX:042-860-5408